

浜学園	6年							
	算数							
学習内容	9月の学習内容 No.24速さの発展 No.25立体図形の性質 No.26柱体の体積No.27 すい体・すい台の求積No.28 立体図形の発展							
家庭学習ポイント	9月からはいよいよ後期の志望校別特訓も始まり、平常授業の1回あたりの内容も膨大になるため、時間の使い方を工夫する必要があります。No.24「速さの発展」ではおもにダイヤグラムを扱います。単に「ダイヤグラムで解く」のではなく「なぜこの問題でダイヤグラムを使うとよいのか」「ダイヤグラムを使って考えるのに適した問題の共通点はなにか」を考えながら演習を進めましょう。No.25「立体図形の性質」では展開図や投影図、「スライス解法」など、No.26「柱体の体積」ではすい体以外のさまざまな立体の体積、表面積、立体の切断などを網羅的に演習します。No.27「すい体・すい台の求積」ではいよいよ計算を集中して行う作業力を要求されます。難解な問題ではなくても、計算がおぼつかないため答えが合わない、という状況を排除していきましょう。No.28「立体図形の発展」も同様ですね。立体の切断と求積の関連は難関校では定番です。							
課題の把握と解決策	チェック1	求積の問題で計算ミスを連発していませんか？						チェック
	解決策	「1問を解き切るまでの集中」を意識して計算してみましょう						□
	チェック2	隔たりのグラフを正しく読み取っていますか？						チェック
	解決策	難関校では頻出のグラフですね。No.24でしっかり復習しておきましょう						□
	チェック3	「ダイヤグラムで解くのに適した問題はどのようなもの？」という問いに答えられますか？						チェック
	解決策	「時間の流れがポイントになる問題」といったニュアンスで答えが返ってくるといいですね						□
	チェック4	サイコロを転がす問題を正しく考えられますか？						チェック
	解決策	頭の中で想像する、以外の方法（プリン状態の見取り図を書くなど）も知っておくとよいですね						□
	チェック5	立体の切断の図を正しく書けますか？						チェック
解決策	切り口が五角形、六角形になる場合を正確に書け、体積を求められればOKです						□	
浜学園	6年							
	国語							
学習内容	9月の学習内容 「説明的文章」No.29「文学的文章」No.30「文法」							
家庭学習ポイント	平常授業では、「知識分野の達人」を用いて、文法の学習が行われます。「合格完成への道」では読解の単元が4回、知識分野の単元は1回です。後期の志望校別特訓が始まり、いよいよ「常に問題を問いている」状態に近い毎日になりますが、平常授業の内容は授業で完璧に理解しておく意識で臨むようにしましょう。カリキュラムがタイトなので、優先順位を付けて学習していく必要があります。志望校の過去問を参照して、出題傾向を把握しておきましょう。今月の平常授業では、文法の学習が中心に行われます。志望校によっては文法に関連する問題の配点が高いケースがあります。直接文法事項を当問題ではなくとも、記述問題が多く出題されている場合も、文法の理解は必須です。接続詞に関しては、読解の単元でも必ず必要な知識なので、種類と働きを完璧に理解しておくことが重要です。							
課題の把握と解決策	チェック1	志望校の出題傾向を把握していますか？						チェック
	解決策	入試からさかのぼって、いつ苦手単元を克服するかを考えて予定を立てましょう						□
	チェック2	過去問演習を始めていますか？						チェック
	解決策	国語は過去問演習を早めに始められる科目です。取り組みやすそうな学校から始めてみましょう						□
	チェック3	文法事項の学習を後回しにしてきていませんか？						チェック
	解決策	この時期をよい機会に、計画的に取り組んでみましょう						□
	チェック4	夏休み中の学習効果を振り返って、出来ていること・出来ていないことを確認していますか？						チェック
	解決策	9月は新しいことを身に付けるのではなく、弱点補強や得意分野を伸ばす学習の時期と考えましょう						□
	チェック5	語彙ををコツコツと増やす努力を続けていますか？						チェック
解決策	読解力をつける最大のコツの1つは「語彙力をつける」ことです						□	

浜学園	6年							
	理科							
学習内容	9月の学習内容 No25 電流の磁気作用 No26 天体Ⅰ（地球・太陽） No27 天体Ⅱ（惑星・月） No28 化学Ⅰ（物質・燃焼・溶解度）							
家庭学習ポイント	No.23 、No.24の理解が進んだお子さんにとっては、No25の内容理解は非常に易しいものと言えます。No26からは天体範囲です。出てくる知識の確認事項が膨大です（2回の授業で天体を網羅します）から、問題を解きながら不足している知識を補い「知識の完成まで到達する」ことを意識して取り組みましょう。No27「天体Ⅱ」では惑星、月について総復習します。惑星については、まず金星を押さえておきましょう。金星は内惑星（地球より太陽に近い軌道を公転している惑星であるために、朝・夕方しか見えないといった性質があります。また公転周期が225日（1日あたりの公転角が1.6度）ということから「会合周期」（太陽・金星・地球が一直線に並んでから、次に同じように一直線に並ぶまでの周期）を求める計算問題でも（おもに難関校）で出題されます。月についても裏側が観測できない理由、公転周期と満ち欠けの周期がずれる理由など、定番の記述回答問題をチェックしておきましょう。No28～29「化学Ⅰ」「化学Ⅱ」では化学計算全般を総復習します。							
課題の把握と解決策	チェック1	「右ねじの法則」を正しく使えていますか？						チェック
	解決策	必ず右手を使って確かめましょう（思わず左手を使って失点、が続出します）						☐
	チェック2	太陽系と他の恒星の距離の大まかなイメージを持っていますか？						チェック
	解決策	光速で進んで月まで約1.3秒、太陽まで数分、他の恒星まで（一番近くて）数年といった距離感です						☐
	チェック3	日周運動と年周運動のちがいと関連を正しく把握できていますか？						チェック
	解決策	日周運動は地球の自転による1日で360°、年周運動は地球の公転による1年で360°の運動ですね						☐
	チェック4	太陽系と他の恒星の距離の大まかなイメージを持っていますか？						チェック
	解決策	光速で進んで月まで約1.3秒、太陽まで数分、他の恒星まで（一番近くて）数年といった距離感です						☐
	チェック5	化学計算では「ことばの式」を書いて計算していますか？						チェック
解決策	「水素+酸素⇒水」といった書き出しの下に数値を入れて計算することを徹底しましょう						☐	
浜学園	6年							
	社会							
学習内容								
家庭学習ポイント								
課題の把握と解決策								チェック
								☐
								チェック
								☐
								チェック
								☐
								チェック
								☐
								チェック
							☐	